

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2017年7週の県全体の定点当たり報告数は、6週の31.85から減少し27.02となった。3週連続で減少したものの報告数が多い状態が続いている。A型の報告数は減少しているが、B型の報告数が増加しており、今後も流行状況に注意が必要である。

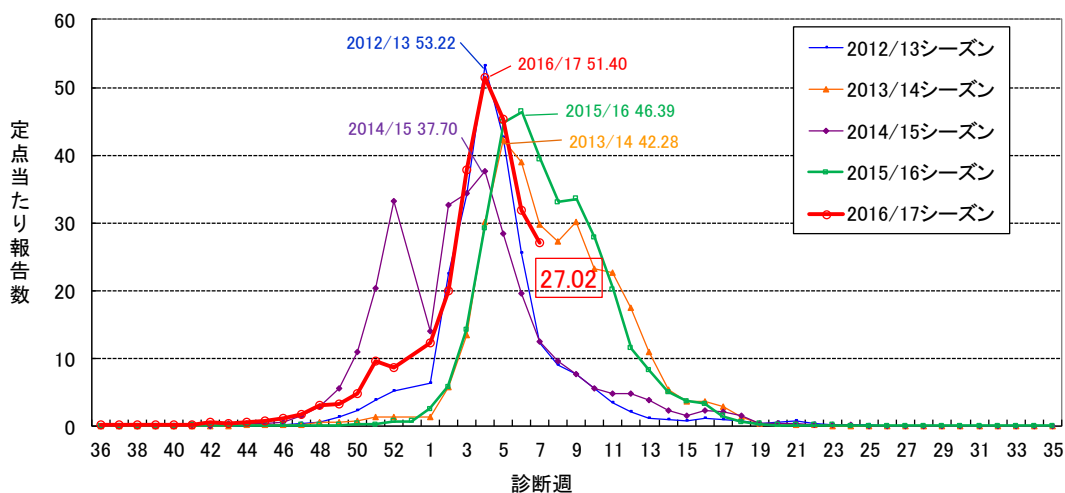
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中11保健所管内で減少し、松戸(34.64)、君津(32.62)、柏市(31.71)、船橋市(31.35)、習志野(30.50)、印旛(29.29)が多い。

2017年7週の年齢群別報告割合は、5～9歳29.4%、10～14歳18.7%、0～4歳17.4%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳25.1%、10～14歳18.8%、0～4歳15.7%が多かった。

2017年7週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、5,592例中A型5,098例(91.2%)、B型477例(8.5%)、A and B型6例(0.1%)、A or B型11例(0.2%)であった。A型の報告数は減少したが、B型の報告数は増加した。2016/17シーズン合計では、53,495例中A型51,236例(95.8%)、B型2,028例(3.8%)、A and B型39例(0.1%)、A or B型192例(0.4%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)  
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

